

# 活動指導案

実践団体名 伴堂防犯委員会

## ■基礎データ

① タイトル

拍子木鳴らしの夜間パトロール

② 活動の概要

拍子木を鳴らしながら夜間(19時～21時の内1時間)パトロールを行う

③ 目標・ねらい

①地域の犯罪を減少させる  
②防犯委員のマンネリ化を防ぐ  
③住民へ防犯・防災意識向上

④ 活動で上げることが  
できる力・能力

①防犯委員と住民の防犯意識の高揚  
②地域住民同士の連帯意識の向上

⑤ 対象者(受ける側)

地域住民、夜間帰宅者、留守宅

⑥ 活動・作業形態

小集団の防犯委員による地域全体の夜間見回り巡回

⑦ 準備するもの  
(道具、材料等)

防犯ベスト、ガードマンライト、拍子木、帽子、腕章、懐中電灯

⑧ 所要時間

1回1時間、通年の平日夜間実施

⑨ 必要なマンパワー  
(実施者、役割、人数)

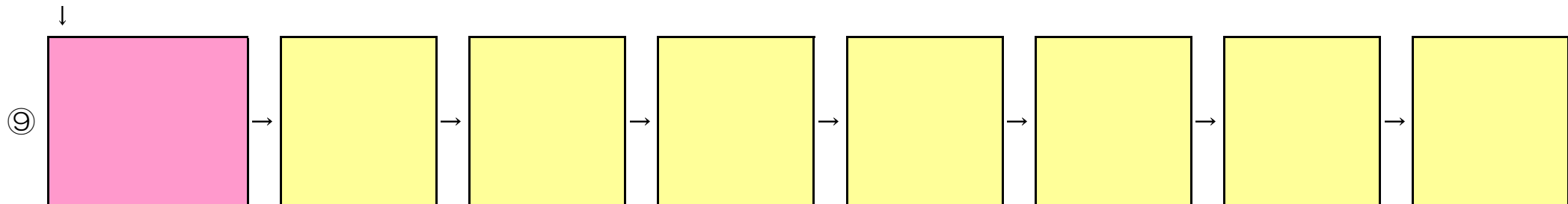
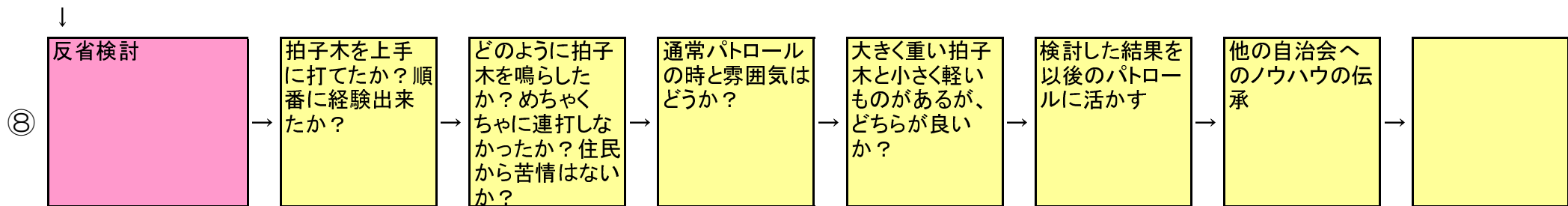
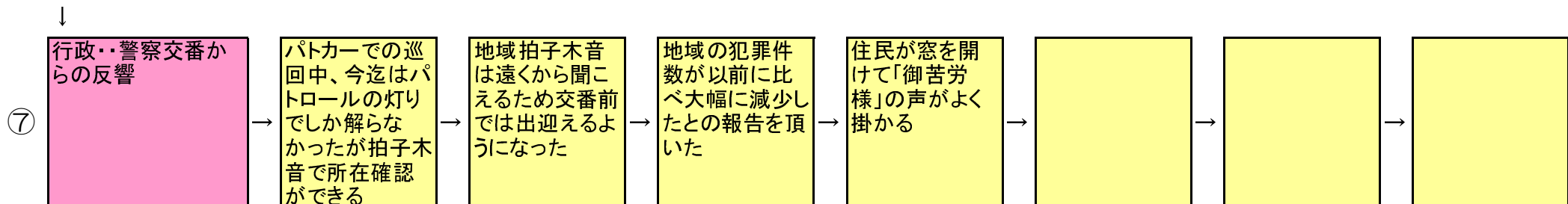
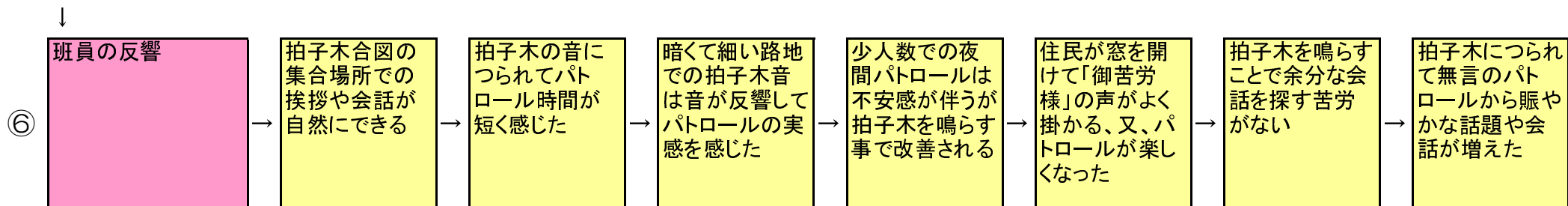
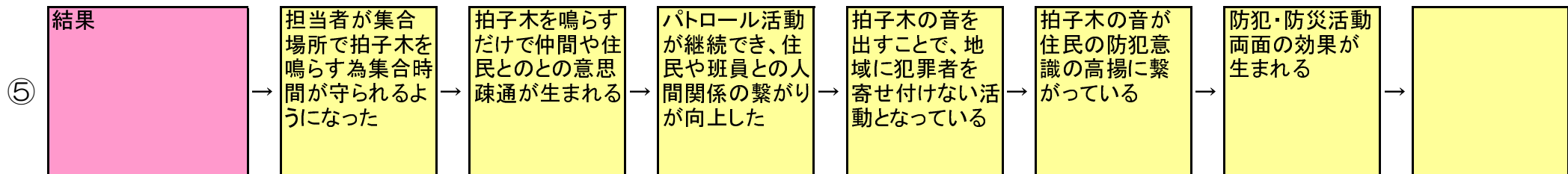
各班複数での巡回

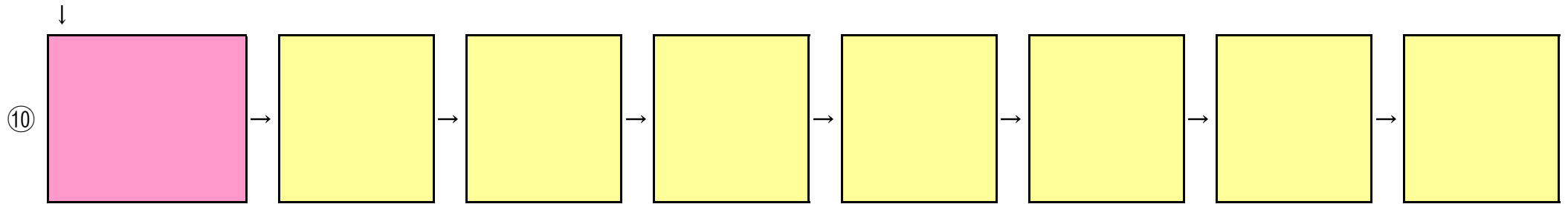
⑩ 必要経費  
(所要額、財源)

自治会の助成金で運営。防犯グッズの購入はすべて助成でまかなえず当初は各自準備。その後町の支援により配布された。

## ■活動の流れ







## ■活動の評価方法

### ①数や量の変化による評価

6班体制で各班2組の拍子木を活用している。班員も平均5人程度。

### ②その他の評価

拍子木の音は夜間反響が大きく、自主的なパトロール活動を実施していることが住民によく伝わり、拍子木の音を合図に戸締り・火の元点検も住民に喚起・奨励でき、住民の防犯意識の高揚と住民同士の連携にも繋がっている。

## ■備考・その他（活動のコツなど）

### ①活動のコツなど

拍子木を乱打・連打するのは逆効果で、路地の入口、出口等ある程度の距離・間隔をおいて2・3回つつ鳴らすのが効果的である。

### ②参考資料等

活動時の写真

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

# 活動指導案

実践団体名 伴堂防犯委員会

## ■基礎データ

① タイトル

「わんわん・ウオーク」パトロール

② 活動の概要

昼間・夕方・ウオーク・犬の散歩時に地域周辺を1時間程度行う

③ 目標・ねらい

①屋外でご近所さんとの会話を増やす  
②犯罪企図者を地域に寄せ付けない

④ 活動で上げることが  
できる力・能力

①井戸端会議風で近所同志の連携を保つ  
②通学児童の見守り効果が生まれる

⑤ 対象者（受ける側）

地域住民

⑥ 活動・作業形態

2人以上の地域活動にも併用（会議・研修会・お茶飲み会・座談会）等

⑦ 準備するもの  
（道具、材料等）

防犯ベスト・腕章 ・たすき ・帽子

⑧ 所要時間

1回1時間程度 通年の平日実施

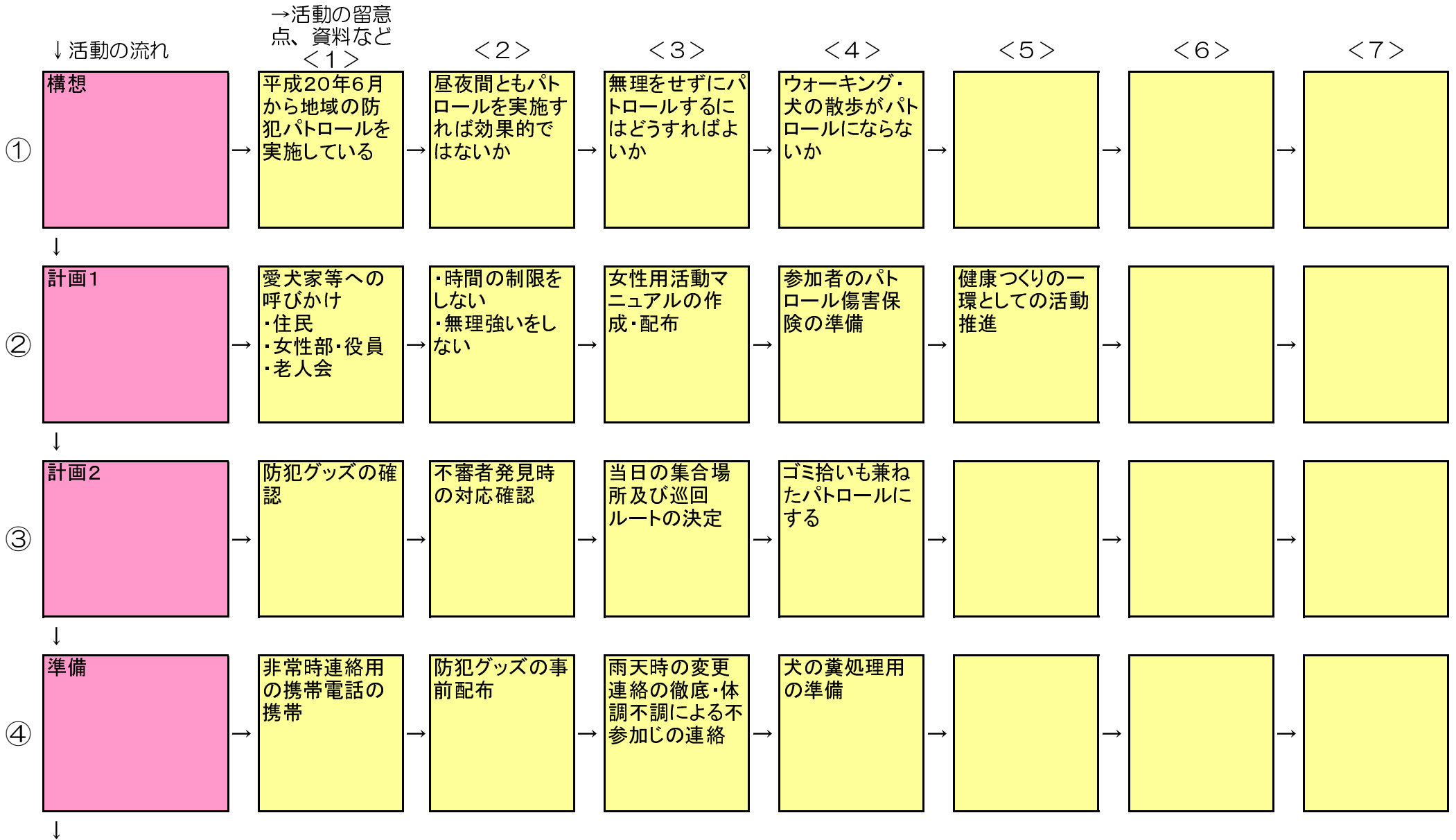
⑨ 必要なマンパワー  
（実施者、役割、人数）

2人以上（活動時の最小単位）

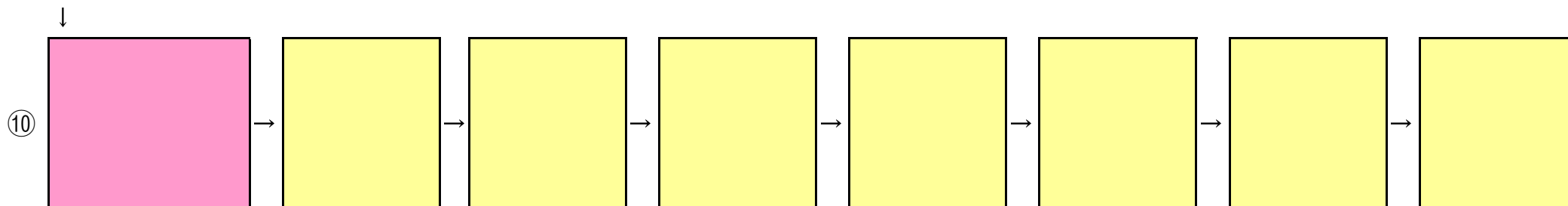
⑩ 必要経費  
（所要額、財源）

自治会の助成および町からの支援による。  
防犯グッズの購入費 ・小型の懐中電灯

## ■活動の流れ







## ■活動の評価方法

### ①数や量の変化による評価

女性を中心とした活動でまだ人数も少ないが、男性への勧誘効果も大きい。  
今後女性部の「声」を重視しながら取り組む

### ②その他の評価

散歩道・公園・等の糞害やゴミの散乱について報告があり自主的な美化活動が徐々に行われている、今後は自治会・行政へも提言する

## ■備考・その他（活動のコツなど）

### ①活動のコツなど

歩行ウォークは女性ばかりではなく夫婦同伴、もしくは散歩を習慣としておられる男性にも連絡して連携が保たれる「きずな」づくりが必要

### ②参考資料等

マニュアル・写真

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

# 活動指導案

実践団体名 伴堂防犯委員会

## ■基礎データ

① タイトル

「青パト」のパトロール

② 活動の概要

「青パト」2台による伴堂地域全体と昼夜のパトロールを行う

③ 目標・ねらい

①地域の犯罪を減少させる ②犯罪者(不審者)地域侵入を抑止する ③痴漢・ストーカー発生を防ぐ

④ 活動で上げることが  
できる力・能力

①夜間(女性・子供)帰宅時間駅周辺見回りによる犯罪の抑止 ②不法投棄・不審車(駐車)の早期発見

⑤ 対象者(受ける側)

①地域住民 ②夜間帰宅女性

⑥ 活動・作業形態

地域の外周道路及び近隣駅周辺の「青パト」2台による巡回

⑦ 準備するもの  
(道具、材料等)

「青パト」2台 防犯パトロールステッカー(防犯パトロール中)2枚・防犯グッズ着用

⑧ 所要時間

1回1時間、(毎週1～2回・巡回距離1回8キロ)

⑨ 必要なマンパワー  
(実施者、役割、人数)

1人～3人乗車(巡回時の最小単位) ・運転免許証及び青パト許可証の携行

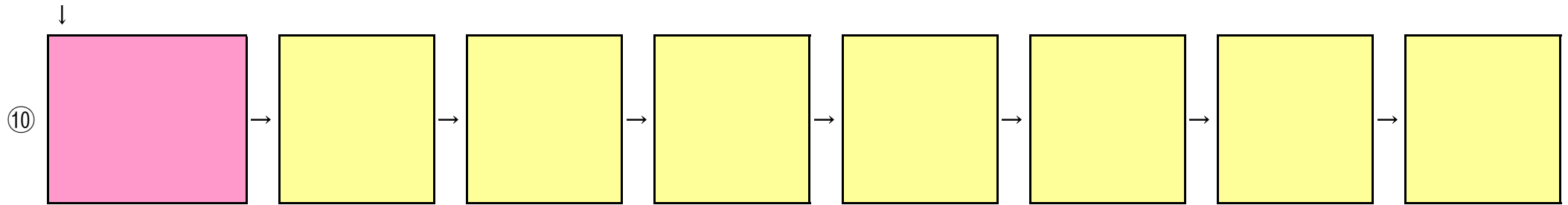
⑩ 必要経費  
(所要額、財源)

青パトのガソリン代 ・ハンドマイク ・防犯グッズ着用

## ■活動の流れ







## ■活動の評価方法

### ①数や量の変化による評価

現在、青パトは2台で活動しているが地域内の道路は狭く十分だと思う

### ②その他の評価

青パトの巡回は特に夜間活動に(回転灯)効果がある、近隣最寄り駅での(女性)帰宅時の見張り活動は犯罪抑制への意味でも感謝されている

## ■備考・その他(活動のコツなど)

### ①活動のコツなど

①児童登下校時の誘導 ②夜間帰宅時間巡回 ③日程及び時間の随時変更 ④同時・外周・内周の巡回

### ②参考資料等

現在独自の資料はないが警察等からの資料で活動中・・・将来・地域独自の資料作成について検討中

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

# 活動指導案

実践団体名

伴堂防犯委員会

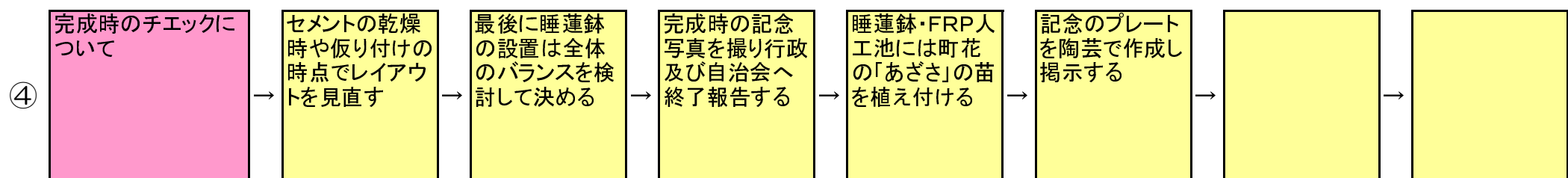
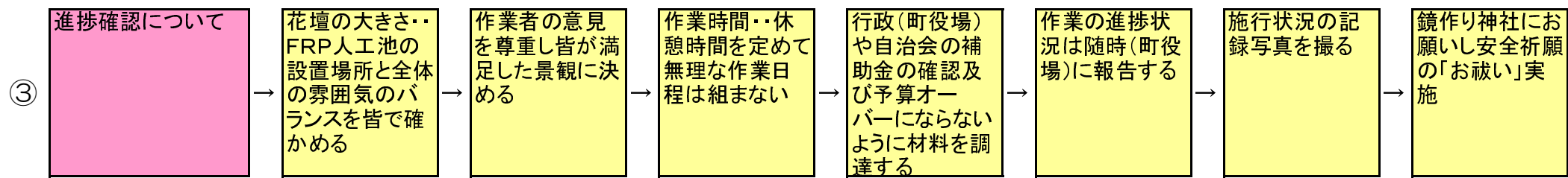
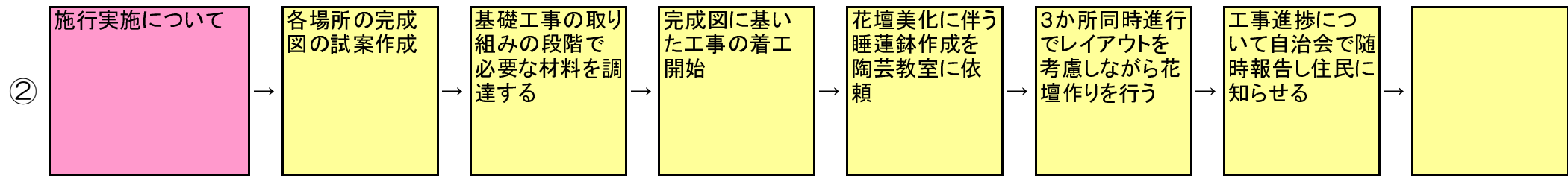
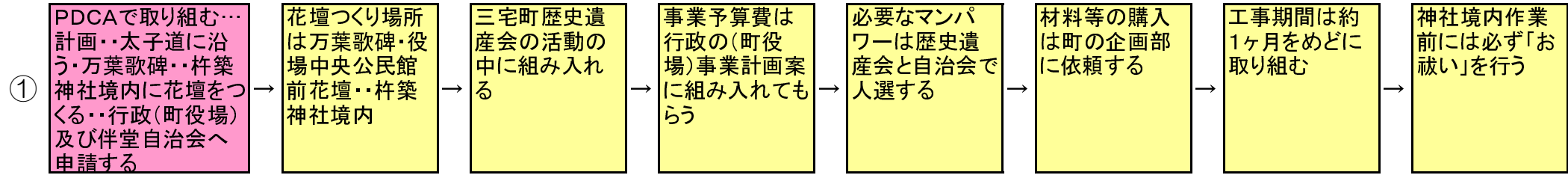
## ■基礎データ

- |                           |  |
|---------------------------|--|
| ① タイトル                    | 地域の名所・旧跡美化推進による防犯活動  |
| ② 活動の概要                   | 太子道・万葉歌碑・杵築神社の美化活動と改善を行う   |
| ③ 目標・ねらい                  | 目標①地域の名所・旧跡を美化する ②地域住民の憩いの場をつくる<br>ねらい①「散歩・休息習慣の輪を広げ住民同志の絆をつくる」この事で住民が集い賑わい不審者の潜伏や侵入を防ぎ犯罪の少ない町づくりが構築できる。 |
| ④ 活動で上げることが<br>できる力・能力    | 最近では近隣同志の触れ合いが核家族化して少ない、触れ合いの輪を広げることで近親感がわきお互い助け合い協力への絆が生まれる   |
| ⑤ 対象者（受ける側）               | 近隣地域住民・・・  |
| ⑥ 活動・作業形態                 | 自治会及び防犯委員会を中心に事業計画案をつくり防犯・防災委員が美化推進の活動を行い「触れ合いの場」の輪を広げる  |
| ⑦ 準備するもの<br>（道具、材料等）      | 花壇づくり・休憩椅子・神社境内清掃に必要な道具・材料（石・FRP人工池・化粧石・瓦・漆喰・セメント・砂）等  |
| ⑧ 所要時間                    | 目標・ねらいの改善に必要な事業計画案に基き期日を決める・・・（約1ヶ月）   |
| ⑨ 必要なマンパワー<br>（実施者、役割、人数） | 花壇設計士・大工・左官・庭師・作業者等・・・自治会員及び防犯委員から募る・・・（約10人程度）  |
| ⑩ 必要経費<br>（所要額、財源）        | ボランティア事業とし必要な材料費については自治会・行政（町役場）等へ要請する・・・（約100万円）  |

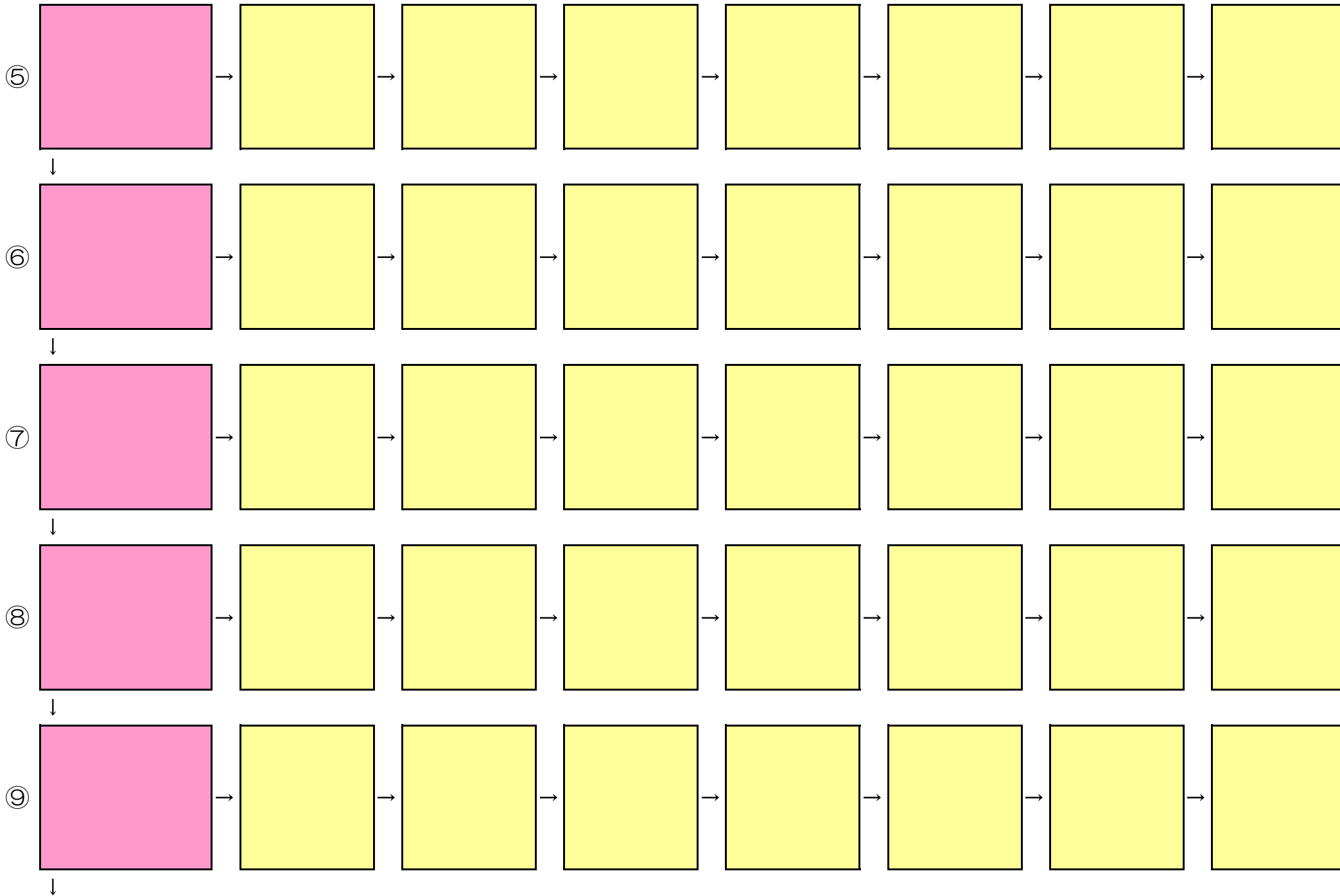
## ■活動の流れ

→活動の留意点、資料など  
<1>

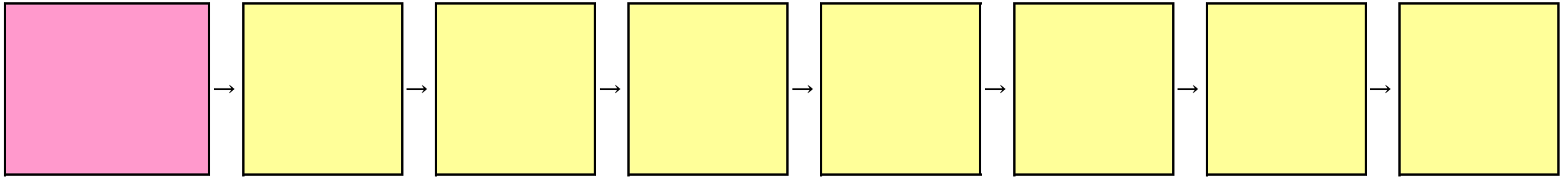
↓活動の流れ



↓



⑩



## ■活動の評価方法

### ①数や量の変化による評価

美化推進改善は太子道を中心に連なる今は清閑な淋しい旧跡の場所を「3ヶ所」明るくして花壇を作り住民の憩いの場に変える

### ②その他の評価

高齢者の散歩や外出は近隣に「憩の場」が無いから途絶えてしまうが気楽に休息出来る場を作れば必ず家族で健康づくりとしても賑わう

## ■備考・その他（活動のコツなど）

### ①活動のコツなど

美化推進は花壇の改善だけではなく、道路の整備や神社境内の清掃も管理し車椅子通行も考慮して行う、防犯等の「のぼり」も随所に掲げてPRする

### ②参考資料等

檀原神宮・三輪神社等の境内を参考に取り組む

※ 活動指導案作成のための準備物：①写真（活動の代表的な写真、流れがわかる写真等）、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

# 活動指導案

実践団体名

伴堂自主防犯委員会

## ■基礎データ

① タイトル

防犯活動の活性化について

② 活動の概要

平成20年6月発足以来、防犯委員会として活動の定着化を図る為に「同じメンバー・同じルート・同じ時間」で活動している。

③ 目標・ねらい

①目標としては自分の担当範囲を全地域に広げる ②委員会の規約を見直しメンバー・ルート・時間等変更を行う。

④ 活動で上げることが  
できる力・能力

①各班が地域全体を巡回する事で活動の「輪」が広がる ②メンバー入れ替えにより委員全員の繋がりが生まれる。

⑤ 対象者（受ける側）

防犯委員会及び住民

⑥ 活動・作業形態

これまでの集合時間・集合場所・巡回ルートを大幅に変更し各班が新しい決め事を作り新たな活動へ取り組む。

⑦ 準備するもの  
（道具、材料等）

従来通り「防犯グッズ一式・拍子木」等

⑧ 所要時間

従来通り 1回1時間、通年の平日

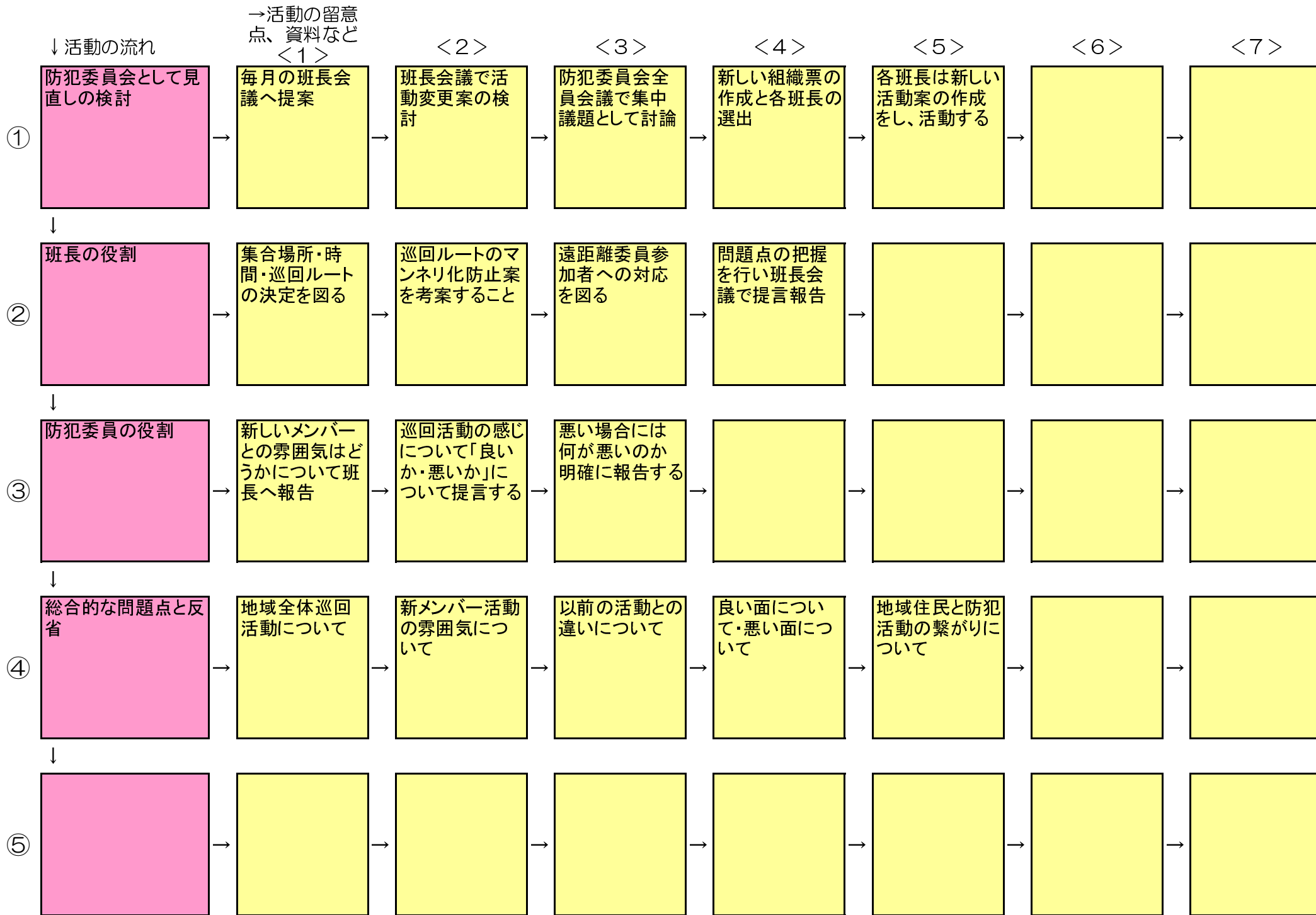
⑨ 必要なマンパワー  
（実施者、役割、人数）

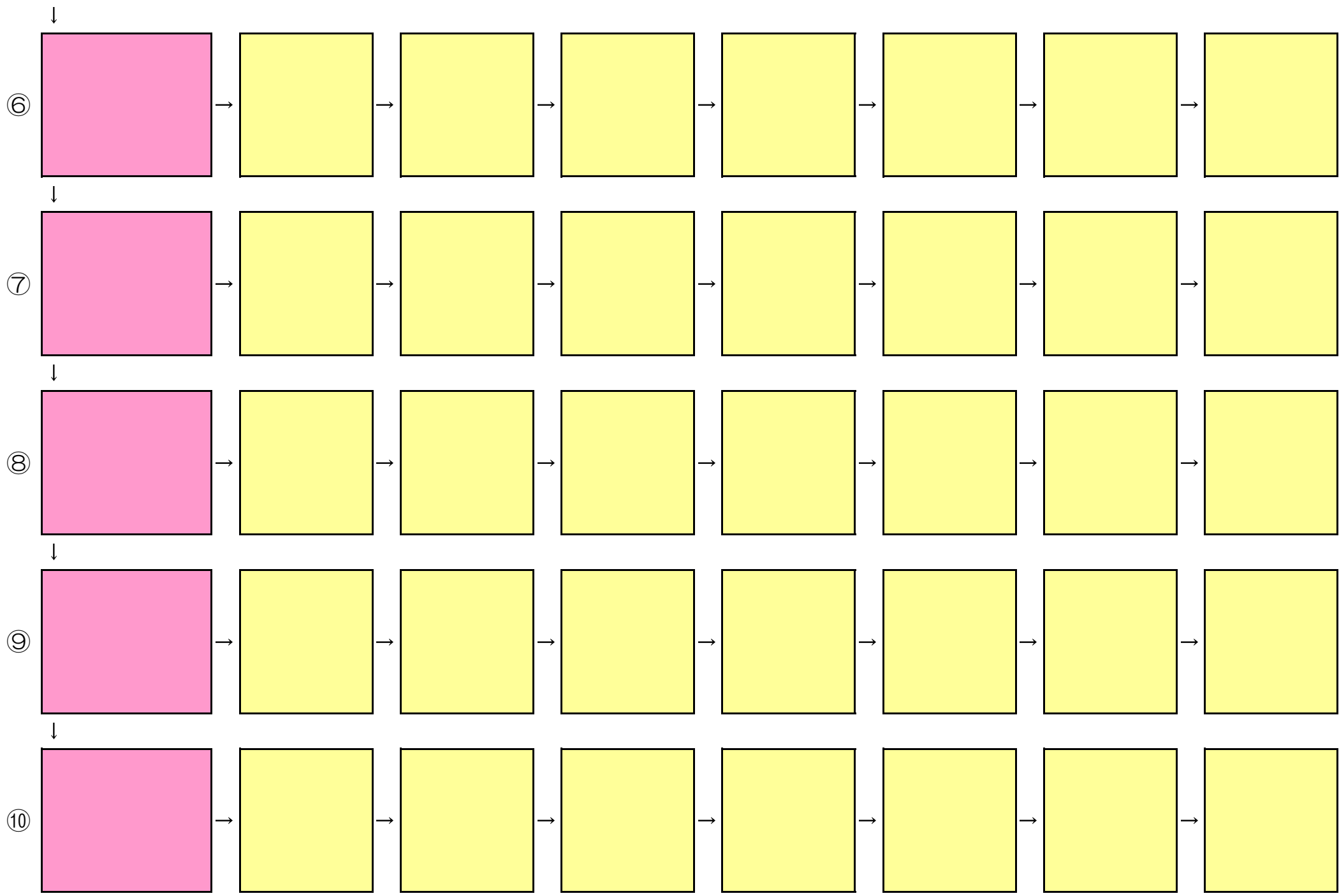
2人以上（巡回時の最小単位）

⑩ 必要経費  
（所要額、財源）

防犯グッズ購入費、青パトのガソリン代

## ■活動の流れ





## ■活動の評価方法

### ①数や量の変化による評価

メンバー変更により月平均4回の活動であり始めの内は戸惑いや不安も伴うと思うがマンネリ化予防策として新たな発想効果が生まれると思う

### ②その他の評価

ボランティア活動は積極性や責任感が弱い感じがするが活動に参加する事で「自分達の町は・俺達が守る」という自覚が生まれそうだ

## ■備考・その他（活動のコツなど）

### ①活動のコツなど

①地域全体巡回について1回では無理でありルートを分割して平均化する ②遠い所からの参加者は2名以上のペアーを組む ③集合場所等も一定 化せずに委員の負担にならない場所を設定する

### ②参考資料等

防犯委員会のマニュアルを参考に活動する

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等